

ウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム

WGIPと「歴史戦」

「日本人の道徳」を取り戻す

高橋史朗 (たかはし・しろう)

昭和25年(1950)、兵庫県に生まれる。早稲田大学大学院修了後、米国スタンフォード大学フーバー研究所客員研究員、明星大学教授、臨時教育審議会専門委員(政府委嘱)、国際学校研究委員会委員(文部省委嘱)、青少年健全育成調査研究委員会座長(自治省委嘱)、埼玉県教育委員長等を経て、現在、公益財団法人モラロジー研究所教授、麗澤大学大学院特任教授、一般財団法人親学推進協会会長、男女共同参画会議議員(政府委嘱)、日本仏教教育学会・日本家庭教育学会常任理事を務める。

著書に『検証・戦後教育』『感性を活かすホリスティック教育』『脳科学から見た日本の伝統的子育て』(以上、モラロジー研究所)、『日本が二度と立ち上がれないようにアメリカが占領期に行ったこと』(致知出版社)など多数。

目次

- 序章** 在外文書調査研究の旅へ
初心の場所へ／複眼的研究の誓い／ヴァイニング夫人の機密文書／ほか
- 第1章** 「伝統的軍国主義」という共同幻想
発見された岸本英夫日記／日本人の「国民性」のとんでもない誤解／ほか
- 第2章** ウォー・ギルト・インフォメーション・プログラムの策定経緯
戦争犯罪キャンペーンの始まり／日本に浸透した占領軍の価値観／ほか
- 第3章** ベネディクトとミアーズの比較考察
日本研究の態度／ミアーズへの冷評／「公平な正義」とは何か／ほか
- 第4章** 天皇の「人間宣言」をめぐる攻防
新史料で浮かび上がる“攻防”／伝統精神尊重の原点を明示した昭和天皇
- 第5章** アメリカにおける「歴史戦」
朝日誤報の国際的影響とIWG報告書／嘘は反論しなければ真実となる／ほか
- 第6章** ユネスコにおける「歴史戦」
冤罪裁判史料が「世界の記憶」に／和訳されない史料が国際論争の論拠に／ほか
- 終章** ユネスコ「世界の記憶」の最新動向に関する一考察
第201回ユネスコ執行委員会文書(国際諮問委員会進捗報告書)／ほか

発行：公益財団法人モラロジー研究所 発売：学校法人廣池学園

下欄にご記入のうえ、FAX：04-7173-3324にてお申し込みください

『WGIPと「歴史戦」』—「日本人の道徳」を取り戻す』 ご注文数 _____ 部

※ 商品に同封する振込用紙にて、お近くのコンビニまたは郵便局でご入金ください。送料は実費で申し受けます(税込5,000円以上のご注文で送料無料)。

お名前

お届け先(〒 _____)

お電話番号

公益財団法人モラロジー研究所 出版部

〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 TEL.04-7173-3155 FAX.04-7173-3324
オンラインショップ <http://ecmoralogy.jp/> なら、クレジットカードや代引きにも対応!

モラロジー・ブックストア [道徳の本屋さん](#)  で検索

